第4節 結核·感染症対策

1 結核予防

(1) 結核罹患状況

わが国の結核状況は、新登録患者数が年々減少しているものの、依然としてわが国最大の感染症の一つであり、世界的にも結核の中まん延国と位置付けられている。

平成30年の管内の新登録患者数(表1)は20人で、 昨年より20人減少し、罹患率は8.8と昨年(17.5)に比 べ減少した。感染の危険性が高い喀痰塗抹陽性肺結核 患者数は7人で昨年に比べ6人減少し、喀痰塗抹陽性 肺結核罹患率は3.1と昨年と比較し増加した。新登録 患者に占める割合は、35.0%と比較し増加した。

新登録患者の年齢階層別では(表 3-1)では70歳以上が12人と全体の60.0%を占め、性別でみると(表 3-2)男性が12人で罹患率が5.3、女性が8人で罹患率が

3.5 と男性が多かった。新登録患者の発見方法別 内訳(表3-3)では、医療機関受診が 17人で全体の85.0% を占め、その他 個別・定期健康診断が 3人 (15.0%) であった。

潜在性結核感染症に該当する者の届出は(表 3-3)8 人で、昨年(11人)と比較して減少している。発見方法 別でみると、接触者健康診断が6人となっており全体 の75.0%を占めている。

平成30年12月末における管内での登録者数(表2) は57人で昨年より8人減少し、登録率は25.1で、石 川県(22.0)を上回っている。活動性結核患者は13人で 昨年より14人減少しており、有病率は5.7で昨年 (11.8)と比べ減少した。

表 1 新登録結核患者数、罹患率の年次推移

(単位、患者数:人、罹患率:人口10万対)

			H26 年	H27 年	H28 年	H29年	H30 年
	新	登録結核患者数	24	35	29	40	20
表加加		全結核罹患率 罹患率	10.4	15.3	12.7	17.5	8.8
南加賀		菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	12	14	9	13	7
E N		喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	5.2	6. 1	3.9	5. 7	3. 1
		新登録結核患者に占める割合	50.0%	40.0%	31.0%	31.0%	35.0%
	新	登録結核患者数	149	149	126	138	110
		全結核罹患率 罹患率	12.9	12.9	10.9	12.0	9.6
石川県		菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	50	65	41	56	32
		喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	4.3	5. 6	3.6	4. 9	2.8
		新登録結核患者に占める割合	33.6%	43.6%	32.5%	40.5%	29. 1%
	新	登録結核患者数	19,615	18, 280	17,625	16, 789	15, 590
		全結核罹患率 罹患率	15. 4	14. 4	13. 9	13.3	12. 3
全 国		菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	7,651	7, 131	6,642	6, 359	5, 781
		喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	6.0	5. 6	5. 2	5. 0	4.6
		新登録結核患者に占める割合	39.0%	37. 9%	39.0%	37. 7%	37. 1%

表 2 結核登録者数・登録率、有病者数・有療率の年次推移 (単

(単位:人) 平成30年12月31日現在

		H26 年	H27 年	H28 年	H29 年	H30 年
	結核登録者数	54	65	58	65	57
南加賀	登録率(人口 10 万対)	23.4	28.3	25. 4	28.5	25. 1
管 内	活動性結核患者数	15	22	20	27	13
	有病率(人口 10 万対)	6.5	9.6	8.7	11.8	5. 7
	結核登録者数	339	304	278	263	251
石川県	登録率(人口 10 万対)	29. 3	26. 4	24. 2	22.9	22. 0
41川県	活動性結核患者数	96	96	86	99	67
	有病率(人口 10 万対)	8.3	8.3	7.5	8.6	5. 9
	結核登録者数	47, 845	44, 888	42, 299	39, 670	37, 134
全国	登録率(人口 10 万対)	37. 6	35. 3	33. 3	31.3	29. 4
土 国	活動性結核患者数	13, 513	12, 534	11, 717	11, 097	10, 448
	有病率(人口 10 万対)	10.6	9. 9	9. 2	8.8	8.3

			活動性			潜在性					
		实必知			肺結核	活動性			肺外	罹患率	結 核
				登録	時喀痰塗抹	ド陽性	その他	菌陰性	結核	(人口10	感染症
		総数	総数	総数	初回 治療	再治療	の結核 菌陽性	圏居住	活動性	万対)	(別掲) 治療中
ř	総数 20 0~4 0 5~9 0 10~14 0 15~19 0 20~29 1 30~39 0 40~49 3		18 7 7 0 11 0 2							8.8	8
	0~4	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	5~9	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	10~14	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
<i>F</i> −	15~19	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
年齢	20~29	1	1	0	0	0	1	0	0	5. 1	2
階	30~39	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1
級	40~49	3	3	1	1	0	2	0	0	9.1	2
別	50~59	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
7)1	60~69	4	3	0	0	0	3	0	1	13. 4	0
	70~79	2	2	1	1	0	1	0	0	6.9	1
	80~89	7	7	5	5	0	2	0	0	43.5	2
	90 以上	3	2	0	0	0	2	0	1	67. 3	0
40 歳	40歳以上の比率 95.0		94. 4%	100.0%	100.0%	0.0%	91.0%	0.0%	100.0%		62. 5
70 歳	銭以上の比率	60.0%	61.1%	85. 7%	85. 7%	0.0%	45.5%	0.0%	50.0%		37. 5

表 3-2 新登録患者数 (活動性分類・性別・市町別) (単位:人) 平成30年1月1日~平成30年12月31日

10		小心口奴(コロカハエノノ	十二万二日	一十八八 50 十 1	12 /J 31 H						
					活動作	生結 核					潜在性	
		サビ マル ハコ			肺結核	活動性			n+ 41	罹患率	結核	
		新登録 患 者		登録	時喀痰塗技	末陽性	その他	古吟州	肺外 結核	(人口 10	感染症	
		総数	総数	総数	初回 治療	再治療	対象 対象性 対象性 対象性 その他		活動性	万対)	(別掲) 治療中	
ř	総数	20	18	7	7	0	11	0	2	8.8	8	
性	男	12	12	3	3	0	9	0	0	5. 3	3	
別	女	8	6	4	4	0	2	0	2	3. 5	5	
市	小松市	11	10	3	3	0	7	0	1	10.3	3	
町町	加賀市	7	6	2	2	0	4	0	1	10.8	3	
別	能美市	2	2	2	2	0	0	0	0	4. 1	2	
ניס	川北町	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	

表 3-3 新登録患者数(発見方法別)(単位:人)

平成 30 年 1 月 1 日~平成 30 年 12 月 31 日

衣がる	* 3-3 利登球思有数(発見方法別)(単位: 八)								~平成 30 年 1	4月31日	
					活 勇	力性 結 村	亥				潜在性
		☆に マシ △ヨ			肺 結	核活動	性		마사시	井井上し	結 核
		新登録 患 者		喀	痰塗抹陽	計性	その他	#1244	肺外 結核	構成比 (%)	感染症
		忠 数	総数	総数	初回 治療	再治療	の結核 菌陽性	菌陰性 その他	活動性	(70)	(別掲) 治療中
総	数	20	18	7	7	0	11	0	2	100.0%	8
健康記	沙 断	3	3	0	0	0	3	0	0	15.0%	7
個	別健康診断	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
定	期健康診断	3	3	0	0	0	3	0	0	15.0%	1
	学校健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
	住民健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
	職場健診	3	3	0	0	0	3	0	0	0.0%	1
	施設健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
接	触者健康診断	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	6
	家族健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	2
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	4
医療機	機関受診	17	15	7	7	0	8	0	2	85.0%	1
受	診	11	11	5	5	0	6	0	0	55.0%	0
他	疾患入院中	3	1	1	1	0	0	0	2	15.0%	1
他	疾患通院中	3	3	1	1	0	2	0	0	15.0%	0
その作	<u></u>	0 0 0 0 0			0	0	0	0.0%	0		

表 4-1 結核登録者数 (活動性分類·年齢階級別) (単位:人)

平成 30 年 12 月 31 日現在

						活動				潜在	E性			
		登録者				肺 結 核 持喀痰塗		性 登録時	登録時	肺外 結核	不活動	活動性	結 感染	
		総数	総数	総数	総数	初回 治療	再 治療	その他 の結核 菌陽性	菌陰性	活動性	性結核	不 明	(別: 治療 中	掲) 観察 中
j	総数	57	13	12	3	3	0	9	0	1	44	0	5	14
	0~4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5~9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10~14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15~19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年	20~29	5	1	1	0	0	0	1	0	0	4	0	2	4
齢階	30~39	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1
級	40~49	3	2	2	1	1	0	1	0	0	1	0	1	2
別	50~59	2	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3
	60~69	6	2	2	0	0	0	2	0	0	4	0	0	0
	70~79	11	2	2	1	1	0	1	0	0	9	0	0	4
	80~89	21	3	3	1	1	0	2	0	0	18	0	1	0
	90以上	7	2	1	0	0	0	1	0	1	5	0	1	0
40 🖟	歳以上の比率	87. 7%	92.3%	91. 7%	100.0%	100.0%	0.0%	88.9%	0.0%	100.0%	86.4%	0.0%	60.0%	64.3%
70 j	歳以上の比率	68.4%	53.8%	50.0%	66. 7%	66. 7%	0.0%	44.4%	0.0%	100.0%	72. 7%	0.0%	40.0%	28.6%

表 4-2 結核登録者数 (活動性分類・性別・市町別) (単位:人)

平成 30 年 12 月 31 日現在

			V (102)		1-1-/	活動	<u>/ 、 </u>						潜在	E性
	\					肺結核	活動,	性		肺外			結	核
		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			不活動	活動性	感染							
		総数	総数	総数	総数 初回 再 での他 菌陰性 活動 の結核 その他 歴		性結核	不明	(別:					
					秘叙	治療	治療	菌陽性	その他	性			治療中	観察 中
ń	総数	57	13	12	3	3	0	9	0	1	44	0	5	14
性	男	35	10	10	2	2	0	8	0	0	25	0	2	9
別	女	22	3	2	1	1	0	1	0	1	19	0	3	5
	小松市	36	6	6	0	0	0	6	0	0	30	0	2	7
市町	加賀市	10	5	4	2	2	0	2	0	1	5	0	1	6
別	能美市	10	2	2	1	1	0	1	0	0	8	0	2	1
	川北町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

表 5 結核死亡数及び死亡率の年次推移

(単位、死亡数:人、死亡率:人口10万対)

24 - NHD 0 = = 29424 0 7 -	— I · I 》 4 3 四	12		· · · — · · · //	. , .,	7 7 47
		H26 年	H27年	H28年	H29年	H30年
南加賀管内	死亡数	1	1	2	2	0
用加貝官門	死亡率	0.4	0.4	0.9	0.9	0.0
石川県	死亡数	11	14	14	13	15
4川条	死亡率	1.0	1.2	1.2	1. 1	1.3
全国	死亡数	2,099	1, 955	1,892	2, 303	2, 204
土. 国	死亡率	1. 7	1.6	1.5	1.8	1.8

(2) 結核患者管理状況

保健所では感染症法に基づき結核患者及び結核回 復者について登録管理をしている(表 6)。

登録中の患者に対しては、保健師等の家庭訪問により患者の治療支援や相談、積極的疫学調査や接触者健康診断の連絡調整などで面接や相談を実施している(表7)。治療終了者や治療中断者に対して、再

発の有無の検査として精密検査(管理検診)を実施 している(表8)。

さらに、市町や学校長、施設長や事業者等に対する結核定期健康診断の把握(表 9)を通して、実施徹底にかかる指導を行い、結核患者の家族及び接触者に対しては接触者健康診断を実施している(表 10)。

表 6 結核登録状況 (単位:人)

平成 30 年 1 月 1 日~平成 30 年 12 月 31 日

		前年末	本年中登録				本年末				
		総 数 (A)	新規	転入	計 (B)	死亡	治ゆ 観察不要	転出	その他	計 (C)	総 数 (A+B-C)
合 計		88	28	3	31	10	29	2	2	43	76
結 核 患 者		65	20	2	22	10	17	2	1	30	57
潜在性結核感染	症	23	8	1	9	0	12	0	1	13	19

表 7 保健指導実施状況(単位:件数)

平成30年度

訪	問	来 所	相談	電話相談			
実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数		
39	110	27	58		1, 233		

表 8 管理検診実施状況(単位:人)

平成30年度

				受 彰	者	数			枪	食診 結り	果
対象者 (A)	保健所	委	託 医 療 材 内 直接 撮影	幾 関 訳 喀痰	定期 病状 報告	他の医 療機関 等	計 (B)	受診率 (B/A)%	要医療	要観察	観察 不要
108	0	89	89	11	19	0	108	100.0%	0	62	46

表 9 結核定期健康診断の状況

平成30年度

			受 診	者 数		検 診	結 果
	対象者数			検 査	内 容		発病の恐れの
		受診者数	受診率%	間接撮影	直接撮影	患者発見数	ある者
合 計	81, 312	30, 116 37. 0% 18, 088 11, 909		11, 909	0	0	
事業主	13, 247	12, 780	96.5%	4,003	8, 752	0	0
学校長	3, 050	2,837	93.0%	1, 320	1, 512	0	0
施設長	1, 972	1, 905	96.6%	295	1,610	0	0
市町長	63, 043	12, 594	20.0%	12, 594	0	0	0

※結核健康診断報告書が予防接種法施行規則の一部改正(平成25年4月1日施行)により、「結核に係る予防接種を受けた者の数に関する1月ごとの市町村長の報告」が廃止されたことに伴い、予防接種の報告欄が削除された。

表 10 接触者健康診断実施状況(単位:人)

平成30年度

								受意	》 者	数					検診	結果
		対象	保健	所実施		委割	£医療機	関実施の	j	集団	健診分	7.0		亚头太		発病
		者		内訳			内	訳			内訳	その ・ 他実	計	受診率 (B/A)	発見 患者	の恐 れの
		(A)		IGRA		ツ反	直接 撮影	喀痰	IGRA		直接 撮影	施分	(B)	(B/ A) %	数	ある 者
合	計	251	168	168	43	2	35	1	5	38	38		249	99. 2%	2	12
患っ	者家族	66	51	51	15	2	9	0	4	0	0		66	100.0%	0	1
そ	の他	185	117	117	28	0	26	1	1	38	38		183	98. 9%	2	11

(3) 結構	该対策特別促進事業	平成 30 年度
事業者研修会	対 象:外国人雇用事業主及び健康管理担当者 実施日:平成31年 3月 14日(木) 内 容:労働者(外国人含む)の健康管理 ・外国人結核患者の発病推移と発見過程の現状 ・職場における感染症発生予防のための健康管理 ・日常生活上の健康管理と疾病の早期受診について 講 師 保健所職員 参加者:34名	
結核対策研修会	対 象:医療機関等における医師及び医療関係者 実施日:平成30年11月1日(木)19:00~21:00 内 容:結核対策研修会 1)講話:「皆さんへお願いしたいこと(届出等について)」 担当:南加賀保健所職員 2)講演「結核の院内感染対策~早期診断と対策のピットフォール~」 講師:公益財団法人結核予防会結核研究所 企画主幹 吉山 崇 先生 参加者:55名	
治療成功のた	コホート検討会(年3回): 診査会終了後に開催 実施日: 平成30年10月24日(水)10件 平成31年 1月9日(水)12件 平成31年 2月27日(水)13件 内容: 菌陽性肺結核患者の治療成績の判定および評価 検討対象: 新登録の肺結核新登録患者(菌陽性)の内、治療終了者35名 参加者: 感染症診査協議会委員、保健所長、保健所担当者	
治療成功のための支援事業	DOTSカンファレンス (7 件開催) 実施日:南加賀保健所 4/12、4/26、8/3、10/3、10/18、12/7、1/25 会場:小松市民病院、加賀市医療センター 対象:塗抹陽性肺結核患者及び主治医が服薬支援を必要と認めた患者(退降) 連絡、転院時に保健所から連絡) 参加者:病院主治医、担当看護師、薬剤師、地域医療連携室等 保健所保健師、服薬支援者 (ケアマネージャー等)	完時に病棟から

2 感染症予防

(1) 感染症発生状况

感染症発生動向調査

感染症の蔓延を防止するため、医療機関の協力のもと、患者の発生状況や病原体検出結果等の流行実態を早期かつ的確に把握し、情報を速やかに地域に還元することにより、有効かつ適切な予防対策の確立に資することを目的として、通年実施している。

感染症予防相談状況では、延べ3,834件の相談に対応しており、感染症分類別では、 結核が最も多く、ついで、感染性胃腸炎(ノ ロウイルス含む)、インフルエンザ (H1N1 含む) の順となっている。

特に、インフルエンザやノロウイルスについては、保育園や高齢者施設などの社会福祉施設からの集団発生に対する相談が多く寄せられた。施設への早期訪問により、施設調査や消毒指導を行うことで、施設職員への二次感染防止のための指導を行った。

表 11-1 感染症発生状況(全数把握)

		H26 年	H27年	H28 年	H29 年	H30年
一類(全7疾患)		0	0	0	0	0
二類(全7疾患)	結核(潜在性結核感染症含む)	3 4	4 3	4 2	5 1	2 8
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0
三類(全5疾患)	コレラ	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	2	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	2	7	1 0	1 0	8
四類(全44疾患)	A型肝炎	0	0	0	1	0
	重症熱血小板減少性症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0
	つつが虫病	1	1	0	2	0
	デング熱	0	0	1	0	0
	日本紅斑熱	0	0	1	0	0
	レジオネラ症	5	3	5	8	3
五類(全24疾患)	アメーバ赤痢	1	1	1	0	1
	ウイルス性肝炎	1	0	0	0	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	4	2	2	8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	3	1	1
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	3	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	2	1	5	0
	水痘 (入院例)	0	1	2	1	1
	梅毒	1	2	2	2	1
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	1	0
	破傷風	0	0	1	0	0
	百日咳	0	0	0	0	6 9
	風しん	1	0	0	0	5
	麻しん	0	0	0	1	0

(感染症発生動向調査より)

平成30年度

	_		訪問	相談	来所	相談	電話	相談
			実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
		感 染 症 総 数	8 4	183	3 3 5	369	117	2848
(内訳	一类	頁感染症	0	0	0	0	0	0
	二类	頁感染症(結核)	3 9	110	2 7	5 8		1233
	三類	頁感染症	7	2 3	2	5	8	1 2 6
	(内訳)	腸管出血性大腸菌感染症	7	2 3	2	5	8	126
	四類	頁感染症	5	5	1	1	1 0	48
	五類	頁感染症	18	3 0	2	2	9 9	367
	その	D他	1 5	1 5	303	303		1074
	(内訳)	感染性胃腸炎(ノロウィルス含む)		12		0		194
		インフルエンザ		1		2		4 4 6
		予防接種		0		0		17
		上記以外		2		301		417

定点 疾患名 区分 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 インフルエンザ 管内 1,995 829 205 172 50 5 3 RSウイルス感染症 管内 4 12 11 4 6 3 2 展内 46 58 80 41 13 29 82 個頭結膜熱 標内 46 58 80 41 13 29 82 A群落血性レンサ球菌 咽頭炎 管内 106 15 5 15 22 22 2 2 水痘 標内 571 695 619 399 386 536 278 水痘 響内 715 581 764 598 795 936 522 水痘 雲内 26 22 36 36 39 59 22 季内 1 0 0 3 3 26 4 <t< th=""><th colspan="2">•</th><th></th><th>J 900</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>1 14/</th><th>(30年</th><th>(単位:人)</th></t<>	•			J 900										1 14/	(30年	(単位:人)
RSウイルス感染症 一次	Ē点	疾患名		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
RSウイルス感染症 県内 7,788 5,451 1,301 667 208 36 4 12 11 4 6 3 3 2		インフルエンザ	管内	1,995	829	205	172	50	5	3	0	1	1	12	166	3,439
RSワイルス感染症 県内 46 58 80 41 13 29 82 16 16 15 5 15 22 22 2 2 2 2 2 2 2		1 7 7 12 - 7 9		7,798	5,451	1,301	667	208	36	4	1	11	62	86	1,084	16,709
県内 46 58 80 41 13 29 82 16 16 15 5 15 22 22 2 2 2 2 2 2 2		DCウイルフ耐洗庁	管内	4	12	11	4	6	3	2	11	86	91	34	4	268
中の 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中の		139イルス必米症	県内	46	58	80	41	13	29	82	169	458	205	80	58	1,319
操内 82 91 111 61 101 138 45 A群溶血性レンサ球菌 管内 105 111 66 54 44 93 47 県内 571 695 619 399 386 536 278 感染性胃腸炎 管内 238 155 116 163 232 318 179 県内 715 581 764 598 795 936 522 水痘 管内 5 4 5 14 8 10 6 県内 26 22 36 36 39 59 22 手足口病 管内 1 0 0 3 3 26 4 県内 21 8 2 5 9 55 70 伝染性紅斑 管内 7 3 1 1 0 0 1 31 県内 135 168 220 25 15 15 29 突発性発疹 管内 5 11 8 14 16 14 2 県内 31 42 48 57 66 83 59 百日咳 管内 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 0 0 0 0 0 0 0 小パンギーナ 県内 3 4 4 7 13 14 12 原内 3 4 4 7 13 14 12 電性出血性結膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 県内 3 4 4 7 13 14 12 電性出血性結膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 県内 12 11 6 13 9 6 2 組蓄性髄膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 県内 1 0 1 0 0 0 0 無菌性髄膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 1 0 0 0 0 0 0 基幹 マイコプラズマ肺炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 10 8 11 10 9 18 4 クラミジア肺炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 10 8 11 10 9 18 4		阳雨红蜡嫩	管内	16	15	5	15	22	22	2	2	5	4	16	19	143
四頭炎 県内 571 695 619 399 386 536 278 238 155 116 163 232 318 179 170 1715 581 764 598 795 936 522 755 70	L	四块和块尔	県内	82	91	111	61	101	138	45	32	30	46	86	146	969
「中央学院会社の関係を表現的では、155			管内	105	111	66	54	44	93	47	27	41	49	92	82	811
水痘 県内 715 581 764 598 795 936 522 水痘 管内 5 4 5 14 8 10 6 県内 26 22 36 36 39 59 22 科 管内 1 0 0 3 3 26 4 県内 21 8 2 5 9 55 70 佐染性紅斑 管内 7 3 1 1 0 1 31 保内 135 168 220 25 15 15 29 突発性発疹 管内 5 11 8 14 16 14 2 県内 31 42 48 57 66 83 59 百日咳 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 水位 等内 0 0 0 <t< td=""><td></td><td>咽頭炎</td><td>県内</td><td>571</td><td>695</td><td>619</td><td>399</td><td>386</td><td>536</td><td>278</td><td>220</td><td>268</td><td>287</td><td>375</td><td>513</td><td>5,147</td></t<>		咽頭炎	県内	571	695	619	399	386	536	278	220	268	287	375	513	5,147
RPO 715 581 764 598 795 936 522 水痘 管内 5 4 5 14 8 10 6 県内 26 22 36 36 39 59 22 野内 1 0 0 3 3 26 4 県内 21 8 2 5 9 55 70 田内 135 168 220 25 15 15 29 安発性発疹 管内 5 11 8 14 16 14 2 県内 31 42 48 57 66 83 59 正日咳 管内 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 0 0 0 0 0 0 0 北村 田村 日下腺炎 管内 2 0 1 2 1 1 0 県内 3 4 4 7 13 14 12 原内 3 4 4 7 13 14 12 原内 3 4 4 7 13 14 12 原内 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 3 4 4 7 13 14 12 原内 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 12 11 6 13 9 6 2 田村 田村 田村 田村 田村 田村 田村		成沈州思唱么	管内	238	155	116	163	232	318	179	136	118	97	196	300	2,248
水痘 県内 26 22 36 36 39 59 22 手足口病 管内 1 0 0 3 3 26 4 県内 21 8 2 5 9 55 70 伝染性紅斑 管内 7 3 1 1 0 1 31 県内 135 168 220 25 15 15 29 突発性発疹 管内 5 11 8 14 16 14 2 県内 31 42 48 57 66 83 59 百日咳 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 0 0 0 0 0 0 0 0 ペルパンギーナ 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 ホ行性耳下腺炎 管内 2 0 1 2 1 1 0 県内 3 4 4 7 13 14 12 雲内 0 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 12 11 6 13 9 6 2 経世出血性結膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 県内 12 11 6 13 9 6 2 細菌性髄膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 1 0 0 0 0 0 0 無菌性髄膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 1 0 0 0 0 0 0 基幹 マイコプラズマ肺炎 管内 7 6 5 7 5 12 4 県内 10 8 11 10 9 18 4 クラミジア肺炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 0 保内 10 0 0 0 0 0 0 0 0 日本 サラミジア肺炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 0 (オウム病は除く) 県内 0 0 0 0 0 0 0 0 0		心未正日肠火	県内	715	581	764	598	795	936	522	547	572	592	932	1,408	8,962
小児科 乗内 26 22 36 36 39 59 22 科 手足口病 管内 1 0 0 3 3 26 4 県内 21 8 2 5 9 55 70 安発性発疹 管内 7 3 1 1 0 1 31 百日咳 管内 5 11 8 14 16 14 2 東内 31 42 48 57 66 83 59 百日咳 管内 0 0 0 0 0 0 0 ボイナンギーナ 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 ボイナンギーナ 響内 0 0 0 0 0 0 0 0 0 取行性耳下腺炎 管内 2 0 1 2 1 1 0 0 東内 12 11 6 13 9 6 2 東内 12 11 6 13 9 6 2		水痘	管内	5	4	5	14	8	10	6	8	4	7	15	12	98
現内 1 0 0 3 3 26 4 県内 21 8 2 5 9 55 70 伝染性紅斑 管内 7 3 1 1 0 1 31 県内 135 168 220 25 15 15 29 突発性発疹 管内 5 11 8 14 16 14 2 県内 31 42 48 57 66 83 59 百日咳 管内 0 0 0 0 0 0 0 ペルパンギーナ 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 0 ポイ性耳下腺炎 管内 0 <td>,, </td> <td>/八/立</td> <td></td> <td>26</td> <td>22</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>39</td> <td>59</td> <td>22</td> <td>44</td> <td>38</td> <td>21</td> <td>65</td> <td>78</td> <td>486</td>	,,	/八/立		26	22	36	36	39	59	22	44	38	21	65	78	486
採内 21 8 2 5 9 55 70 伝染性紅斑 管内 7 3 1 1 0 1 31 県内 135 168 220 25 15 15 29 突発性発疹 管内 5 11 8 14 16 14 2 県内 31 42 48 57 66 83 59 百日咳 管内 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 0 0 0 0 0 0 0 ペルパンギーナ 管内 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 0 0 0 3 2 10 150 流行性耳下腺炎 管内 2 0 1 2 1 1 0 県内 3 4 4 7 13 14 12 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 0 0 0 0 0 0 県内 12 11 6 13 9 6 2 無菌性髄膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 県内 1 0 1 0 0 0 0 無菌性髄膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 県内 1 0 1 0 0 0 0 県内 0 1 0 0 0 0 0 県内 0 1 0 0 0 0 0 県内 0 1 0 0 0 0 0 県内 10 8 11 10 9 18 4 クラミジア肺炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 県内 10 8 11 10 9 18 4 クラミジア肺炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 保内 10 10 0 0 0 0 0 0 0			管内	1	0	0		3		4	11	6	5	0	23	82
伝染性紅斑 管内 7 3 1 1 0 1 31 1 1 1 1 1 1 1		于足口州	県内	21	8	2	5	9	55	70	73	100	55	28	57	483
保内 135 168 220 25 15 15 29 管内 5 11 8 14 16 14 2 県内 31 42 48 57 66 83 59 百日咳 管内 0 0 0 0 0 0 0 ペルパンギーナ 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 0 場内 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 14 場内 0	"	仁 沈卅红斑	管内	7	3	1	1	0	1	31	2	1	0	0	1	48
要発性発疹 県内 31 42 48 57 66 83 59		仏架注紅斑	県内	135	168	220	25	15	15	29	34	12	29	48	78	808
野内 31 42 48 57 66 83 59 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 0			管内	5	11	8	14	16	14	2	2	7	9	8	4	100
日日咳 県内 0 1 14 14 12 1 1 0		犬光圧光沙	県内	31	42	48	57	66	83	59	39	70	43	64	25	627
眼内 0 1 1 1 1 0		五日底	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現内 0 0 3 2 10 150 流行性耳下腺炎 管内 2 0 1 2 1 1 0 県内 3 4 4 7 13 14 12 農性出血性結膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 場内 0 0 0 0 0 0 0 0 0 場内 12 11 6 13 9 6 2 細菌性髄膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 (真菌性を含む) 県内 1 0 1 0 0 1 0 無菌性髄膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 2 0 場内 1 0 1 0 <t< td=""><td></td><td>日日恢</td><td>県内</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></t<>		日日恢	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
展内 0 0 0 3 2 10 150 服料 急性出血性結膜炎 管内 2 0 1 2 1 1 0 服料 急性出血性結膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 0 場内 0 <		ヘルパンギーナ	管内	0	0	0	0	0	1	14	27	19	4	0	0	65
振行性耳下腺炎 県内 3 4 4 7 13 14 12 服料 急性出血性結膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 場内 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 場内 12 11 6 13 9 6 2 細菌性髄膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 (真菌性を含む) 県内 1 0 1 0 0 1 0 無菌性髄膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 2 0 場内 0 1 0		- ()() () 4)	県内	0	0	0	3	2	10	150	370	181	47	19	2	784
眼科 場内 3 4 4 7 13 14 12 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 0 場内 0 0 0 0 0 0 0 0 0 場内 12 11 6 13 9 6 2 細菌性髄膜炎 (真菌性を含む) 管内 0 0 0 0 0 0 0 無菌性髄膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 0 基幹 マイコプラズマ肺炎 (オウム病は除く) 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 0 場内 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		法行从开下的火	管内	2	0	1	2	1	1	0	1	0	1	0	0	9
眼科 急性出血性結膜炎 県内 0		加打土井下脉火	県内	3	4	4	7	13	14	12	11	7	8	5	3	91
眼科 県内 0 0 0 0 0 0 0 流行性角結膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 場内 12 11 6 13 9 6 2 細菌性髄膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 (真菌性を含む) 県内 1 0 1 0 0 1 0 無菌性髄膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 4 0 基幹 マイコプラズマ肺炎 管内 7 6 5 7 5 12 4 クラミジア肺炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 0 (オウム病は除く) 県内 0 0 0 0 0 0 0 0		与州山布州	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 県内 12 11 6 13 9 6 2 細菌性髄膜炎 (真菌性を含む) 管内 0 0 0 0 0 0 0 無菌性髄膜炎 管内 0 0 0 0 0 1 0 場内 0 1 0 0 0 4 0 場内 7 6 5 7 5 12 4 クラミジア肺炎 (オウム病は除く) 管内 0 0 0 0 0 0 0 はカム病は除く) 県内 0 0 0 0 0 0 0	141	芯1生山皿1生和展火	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
場内 12 11 6 13 9 6 2 細菌性髄膜炎 (真菌性を含む) 管内 0 0 0 0 0 0 0 無菌性髄膜炎 管内 0 0 0 0 0 0 1 0 場内 0 1 0 0 0 0 4 0 基幹 マイコプラズマ肺炎 (オウン病は除く) 管内 0 0 0 0 0 0 0 (オウム病は除く) 県内 0 0 0 0 0 0 0 0	义个十	法行从名法腊火	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(真菌性を含む) 県内 1 0 1 0 0 1 0 無菌性髄膜炎 管内 0 0 0 0 0 2 0 県内 0 1 0 0 0 4 0 学内 7 6 5 7 5 12 4 県内 10 8 11 10 9 18 4 クラミジア肺炎 (オウム病は除く) 管内 0 0 0 0 0 0 東内 0 0 0 0 0 0 0		加打生用稻膜炎	県内	12	11	6	13	9	6	2	2	18	18	12	22	131
無菌性髄膜炎 管内 0 0 0 0 0 2 0 県内 0 1 0 0 0 4 0 室内 7 6 5 7 5 12 4 県内 10 8 11 10 9 18 4 クラミジア肺炎 (オウム病は除く) 管内 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 0 0 0 0 0 0 0		細菌性髄膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基幹 無菌性髄膜炎 県内 0 1 0 0 0 4 0 でイコプラズマ肺炎 管内 7 6 5 7 5 12 4 県内 10 8 11 10 9 18 4 クラミジア肺炎 管内 0 0 0 0 0 0 0 (オウム病は除く) 県内 0 0 0 0 0 0 0		(真菌性を含む)	県内	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4
基幹 県内 0 1 0 0 0 4 0 管内 7 6 5 7 5 12 4 県内 10 8 11 10 9 18 4 クラミジア肺炎 (オウム病は除く) 管内 0 0 0 0 0 0 0 県内 0 0 0 0 0 0 0 0	ſ	無益州縣暗火	管内	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	3
基幹 マイコプラズマ肺炎 県内 10 8 11 10 9 18 4 クラミジア肺炎 (オウム病は除く) 管内 0 0 0 0 0 0 0		無国1生脚展火	県内	0	1	0	0	0	4	0	2	2	3	0	1	13
県内 10 8 11 10 9 18 4 クラミジア肺炎 (オウム病は除く) 管内 0 0 0 0 0 0 0 0	+ +4	ノープニブー吐水	管内	7	6	5	7	5	12	4	11	19	21	20	11	128
(オウム病は除く) 県内 0 0 0 0 0 0 0	さ杆	マイコノブムマ肺炎	県内	10	8	11	10	9	18	4	11	20	30	35	14	180
(オウム病は除く) 県内 0 0 0 0 0 0 0	Ī	クラミジア肺炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
成为从田田水 然中 1 0 1 1 0 0 0			県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
恩采性自肠次 官内 1 0 1 1 0 0 0	ſ	感染性胃腸炎	管内	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
(ロタウイルス) 県内 1 0 2 3 3 1 0	_	(ロタウイルス)	県内	1	0	2	3	3	1	0	0	0	0	0	0	10

表13 感染症発生動向調查月別患者報告数

平成30年 (単位:人)

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
	LL 100 カニンパラ ng 2h. ric	管内	2	2	2	2	1	3	1	1	0	2	1	0	17
	性器クラミジア感染症	県内	44	36	39	17	19	42	22	24	28	30	31	34	366
	性器ヘルペスウイルス感	管内	1	2	0	0	0	0	2	2	3	1	2	2	15
STD	染症	県内	5	7	7	1	4	5	8	8	7	7	9	8	76
SID	尖形コンジローム	管内	1	1	2	2	1	2	0	2	2	3	0	0	16
	天ルコンジローム	県内	3	1	4	2	2	3	4	4	5	5	2	3	38
	淋菌感染症	管内	1	0	0	0	2	1	1	0	1	2	0	0	8
	你因您 来业	県内	11	13	6	2	9	11	9	8	11	14	7	15	116
	メチシリン耐性黄色ブドウ	管内	8	6	0	8	4	0	6	13	11	12	11	17	96
	球菌感染症	県内	17	11	11	21	23	14	23	28	19	25	26	28	246
基幹	ペニシリン耐性肺炎球菌	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	感染症	県内	1	4	4	2	0	1	0	0	1	1	0	0	14
	薬剤耐性緑膿菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	采用IIIT 注	県内	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3

(2) インフルエンザ様集団かぜ発生状況 (表 14-1、14-2)

平成30年度冬期の発生状況として、県内初発が10月15日羽咋工業高。年末まで白山市以南の学校に発生はないが、能美市の保育所で集団発生。管内初発は、年明け後の1月11日能美市福岡小学校で集団発生。1月21日初発7校 トータルで113件。2月8日(金)か

ら21日まで報告なし。22日から27日は、 小松市能美市で各1校の報告がある。

ウィルスサーベイランスの結果は、49週目からインフルエンザが流行シーズンに入ったとの報告、 $46\sim50週は、AH1pdm09、AH3 亜型、B型の順。年明け後はAH3 亜型、AH1pdm09、B型の順であった。$

表14-1 市町別インフルエンザ様集団かぜ 初発発生状況(平成30年度)

区	分	石川県	管内計	小松市	加賀市	能美市	川北町
施調	没数		94	47	31	12	4
発生力	施設数	148	35	23	4	7	1
在籍数	: (人)	2,917	1,728	1,039	94	573	22
患者数	(人)	7, 339	581	355	53	162	11
	休校	1	0	0	0	0	0
措置状況	学年閉鎖	67	84	40	14	30	0
	学級閉鎖	80	82	50	5	21	6

注:在籍者及び患者数は、措置を取ったクラス等の初発報告の累計 注:同一施設で措置が変更した場合は、休校・学年閉鎖・学級閉鎖・ 授業打ち切りの措置規模の大きい方をカウントしてある。

表14-2	感染	定発生	動向調	査 月	別患者	计報告 数	数(平反	戈 30年	度)							
定点		疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
1 1/ 7	ıl. T	, #i	管内	1,995	829	205	172	50	5	3	0	1	1	12	166	3, 439
	<i>//</i>	<i>></i> 9	県内	7,798	5,451	1,301	667	208	36	4	1	11	62	86	1,084	16, 709

(3) エイズ相談状況 (表 15-1、表 15-2)

エイズに対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、エイズ相談窓口を設け、検査を希望する場合はHIV 抗体検査を実施している。平成17年12月からエイズ予防対策をより一層推進するため、HIV 迅速検査免疫クロマト法を導入した。平成21年度は受検者の利便性を考慮し、午前中及び夜間の検査について、予約なしで迅速検査を行った。平成22年3月からは、午

前中のみ迅速検査を行い、夜間はPA法とし、全て 予約制とした。平成27年度からは、夜間もIC法 となった。

HIV 検査普及週間及び世界エイズデーでは、受 検者の増加を図るため、公衆浴場やカラオケ店、 コンビニエンスストア等に検査日時の記入された ポケットティッシュを配布し、普及啓発を行った。

表 15-1 エイズ相談状況

平成30年度(単位:件)

	相	談件	数		相談	内 容		相	談方	法
	男	++	計	相談	病院	検査	計	来所	電話	計
	D	女	司	のみ	紹介	依頼	司	米別	电前	日日
昼間	104	32	136	21	0	115	136	120	18	138
夜間	44	15	59	1	0	58	59	57	0	57
合計	148	47	195	22	0	173	195	177	18	195

表 15-2 HIV 抗体検査状況

平成30年度(単位:件)

	4 7	足 検 者 数	汝	Ŗ	易性者数	汝	(再掲)	迅速法による	検査
	男	女	計	男	女	計	受検者	要追加 検査数	陽性者数
10 歳代	3	2	5				2		
20 歳代	37	14	51				34	1	
30 歳代	45	12	57				42		
40 歳代	31	9	40				25		
50 歳以上	16	4	20				12		
合 計	132	41	173	0	0	0	115	1	0
(再掲)夜間	45	14	59	0	0	0	0	0	0

(4) 性感染症相談状況(表 16-1、表 16-2、表 16-3) 性感染症に対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、性感染症相談窓口を設け、検査を希望する場合は、クラミジア及び梅毒検査を実施している。平成26年4月から、クラミジア検査が血液検査から抗原検査である尿

検査に変更され、陽性者に対しては紹介状を発行 し、医療機関への受診を促す。また同時に医療機 関への依頼書を渡す。医療機関からは結果書が返 送される。

表 16-1 性感染症相談検査実施状況

平成 30 年度 (単位:件)

	相談件数		梅毒血	L液検査		性	器クラミジ	ア感染症尿	! 検査
	1410(113)	計	陽性	陰性	判定不能	計	陽性	陰性	判定不能
男	115	102	4	98	0	93	5	88	0
女	42	38	0	38	0	35	2	33	0
計	157	140	4	136	0	128	7	121	0

表 16-2 クラミジア検査件数(性別・年齢別)

平成 30 年度 (単位:件)

	計	10代	20代	30代	40代	50代	60 代以上
男	93	2	27	31	22	8	3
女	35	2	13	9	7	4	0
計	128	4	40	40	29	12	3

表 16-3 梅毒検査件数(性別·年齢別)

平成30年度(単位:件)

	計	10代	20代	30代	40代	50代	60 代以上
男	102	3	29	35	25	7	3
女	38	2	14	10	7	5	0
計	140	5	43	45	32	12	3

(5) 肝炎ウイルス相談状況 (表 17)

肝炎ウイルスに対する正しい知識の普及及び感 染者の早期発見・早期治療を目的に、肝炎ウイル ウイルス検査を実施している。

ス相談窓口を設け、検査を希望する場合は肝炎

表 17 肝炎ウイルス相談検査状況

平成30年度(単位:件)

計		HCV 抗体 の検出		H C V	HI	相					
				中力価及び低力価							談
	陰	陰	HCV 抗原検査			高		陰	陽		
		性性	性	陰	性	陽	力	計	性	性	件 数
				HCV-RNA	HCV-RNA	性	価				
				陰性	陽性	1生					
男	100	0	100	0	0	0	0	100	100	0	
女	41	0	41	0	0	0	0	41	40	1	161
計	141	0	141	0	0	0	0	141	140	1	

(6) 肝炎ウイルス検査状況 (表 18)

県民の肝炎ウイルス検査の受検機会を拡大し、 肝炎の早期発見、治療の推進を図ることを目的

とし、肝炎ウイルス検査を医療機関においても実 施している。

表 18 肝炎ウイルス検査状況

平成 30 年度 (単位:件)

	HCV 抗体の検出 または	Ī	HCV抗 体 検 査	HBs 抗原検査			
	HCV 抗体検査						
計	陰性	中力価別	及び低力価		<u> </u>	陰 性	VH
		HCV 核酉	竣増幅検査	高 力 価			
		陰性	陽 性				性性
582	578	1	0	3	582	581	1

(7) 肝炎対策推進事業

肝炎ウイルス感染者フォローアップ事業

(ア) 目 的

肝炎は、国内最大級の感染症であり、感染を放置すると肝硬変や肝がんといった重篤な病態に進行するとともに、ウイルスを通じた感染リスクがある。そのため、診断後間もない肝炎ウイルス感染者や治療中の方及び家族等に対して、肝炎についての正しい知識や治療方法に関する最新知見を学ぶための講演会・相談会を開催することにより、患者等が自分の病態を正しく認識し、長期間にわたる経過観察や治療を継続して行えるよう支援する。

(イ) 開催日・会場

平成 30 年 11 月 27 日 (火) 14:30~16:00 石川県南加賀保健福祉センター

(ウ)参加者

平成 14 年度から 30 年度の市町の肝炎ウイルス検診で感染者と確認された者等 講演会 12 名、個別相談 5 名参加

(エ) 内容

【講演会】

「B型肝炎・C型肝炎の最新の治療」

講師:金沢大学附属病院

特任教授 島上 哲朗 氏

【個別相談】

助言者:金沢大学附属病院 特任教授 島上 哲朗 氏

(根拠法令:肝炎対策基本法 第17条)

(8)「世界エイズデー」に係る普及啓発事業

(ア) 目 的

性に関する意思決定や行動選択に係る能力 の形成過程にある青少年の性に関する正しい 知識を普及するとともに、青少年の性行動の背 景にある心の問題(寂しさや自己肯定感の低さ 等)に、青少年に関わる関係者が適切に対処で きるよう研修することにより、青少年の生きる 力を育成することに寄与する。

(イ) 開催日・会場

平成30年11月8日(木)14:00~16:30 石川県南加賀保健福祉センター

(ウ) 参加者

小・中・高校の養護教諭、助産師会助産師、 保健所・市町職員

13 名参加

(工) 内容

【報告】

「南加賀管内における性感染症、若年妊娠の実態」

報告者:保健福祉センター職員

【講演】

「中学校での関わりをとおして伝えた いこと」

講師:元中学校校長 西上 純一 氏

【ディスカッション】

ファシリテーター及び助産師 元中学校校長 西上 純一 氏 南加賀保健福祉センター 所長 沼田 直子